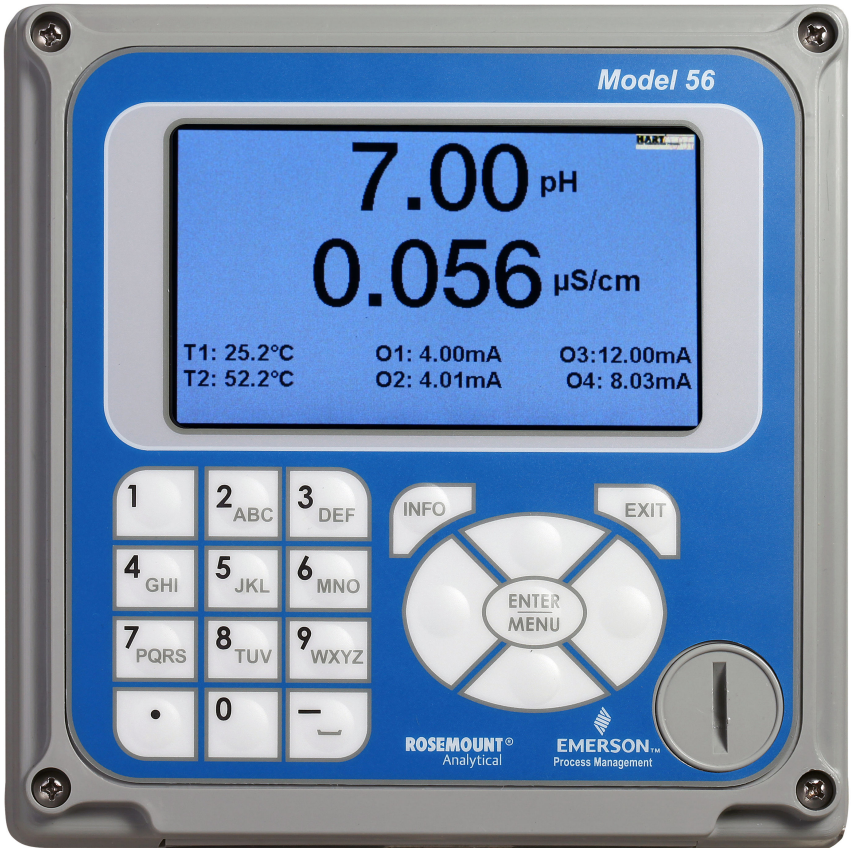


# Rosemount™ 56

デュアル・チャンネル・トランスミッタ



## 安全に関する考慮事項

ご購入いただいた Emerson の計測器は、市販されている中でも、お客様の用途に対応する非常に高性能な製品です。この計測器は、多くの国内規格と国際規格を満たすように設計され、テストされています。弊社のこれまでの経験から、その性能は、設置が適切かどうか、ユーザーに本計測器の操作と保守の知識があるかどうかに直接関連していることが分かっています。設計の仕様どおりに末永くお使いいただくため、本計測器の設置、試運転、操作、保守を進める前に、このクイック・スタート・ガイドをよくお読みください。メーカーの指示に従わない方法で本機器を使用すると、機器の損傷や重大なけがをする可能性があります。

### 警告

正しい指示に従わない場合、死亡、ケガ、物的損害、本機器の損傷、保証の失効といういずれかの状況になるおそれがあります。

### 警告

設置ガイドラインに従ってください。

これらの設置ガイドラインに従わない場合、死亡または重傷を負う可能性があります。メーカーの指示に従わない方法で本機器を使用すると、機器の破損やケガなどの可能性があります。

本書の指示に従って機器を設置してください。

必ず資格を持つ担当者だけが設置を行うものとします。

本製品の設置、操作、保守の方法を自社従業員に伝え、教えてください。

適切な地域と国の条例に従ってください。

説明書の指示について不明な点がある場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

### 警告

#### 感電

本製品の設置と点検・修理を行う際、当該作業者が危険な電圧にさらされるおそれがあります。

電気設備は、米国電気工事規定 (ANSI/全米防火協会-70) およびその他の国や地域の規定に準拠している必要があります。

本機器は二重絶縁によって全体が保護されています。

点検・修理を行う前に、別の電源に接続された主電源を切ってください。

資格のある人員が保守を行う場合を除き、すべての機器の扉が閉まっていること、保護カバーが取り付けられていることを確認してください。

信号配線の定格は 240 V 以上である必要があります。

非金属製ケーブルの張力のがしは、導管接続部間の接地にはなりません。接地タイプのプッシングとジャンパーワイヤを使用してください。

本機器が 3 線式電源に接続され、適切に接地されていることを確認してください。

適切な使用と構成はオペレータの責任です。

**警告**

## 機器の操作

資格のない者がエンドユーザの機器への重大な損傷や設定ミスを引き起こすことがあります。これは故意または過失で行なわれる場合があります、それを防ぐ必要があります。

物理的な操作制限は、どのセキュリティ計画にとっても重要な部分であり、システムを保護する上で必要不可欠です。エンドユーザの設備を保護するため、無資格者による操作を制限してください。これは、施設内で使われるすべてのシステムが対象です。

**通知**

注文書に記載の正しいモデルとオプションを受領したことを確認してください。ご注文のモデルとオプションがこのクイック・スタート・ガイドで扱われていることを確認してください。扱われていない場合は、Emerson カスタマー・ケア・センター (0436-44-8312) に電話して、正しいクイック・スタート・ガイドを取り寄せてください。

**通知**

修理には、工場で実証済みの部品のみを使用してください。部品や手順の改ざんや不正な代用をすると、性能に影響し、プロセスの安全な運転を妨げる原因となることがあります。

**通知**

本製品は、無線周波数エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、無線通信妨害を起こす可能性があります。

規制によって一時的に許可されているように、本装置は、妨害の修正に必要なあらゆる措置を講じるように策定されている連邦通信委員会 (FCC) 規則の第 15 部の副項目 J に従って、クラス A のコンピューティングデバイスの制限内での準拠についてテストされています。

**通知**

本製品は、ENG1226-1:2006 の機器の認証に従った、軽工業、住宅、商業環境での用途には向きません。

**目次**

最初のステップ.....	5
設置.....	13
配線/結線.....	16
ディスプレイ表示の変更.....	22
トランスミッタの起動.....	26
防爆認定.....	28
製品証明書.....	29

---

EU 適合宣言書.....	31
中国 RoHS 表.....	33

# 1 最初のステップ

## 1.1 開梱および点検

### 手順

1. 搬送容器を点検します。破損している場合は、すぐに出荷元に連絡して、指示を受けてください。
2. 明確に破損していない場合は、容器を開梱します。パッキングリストに記載されているすべてのアイテムがあることを確認します。アイテムが欠けている場合は、すぐに Emerson にご連絡ください。

## 1.2 取付け

### 注

以下の図面の寸法はインチ(上)とミリメートル(下)で示されています。

図 1-1: パネル取付け 前面図

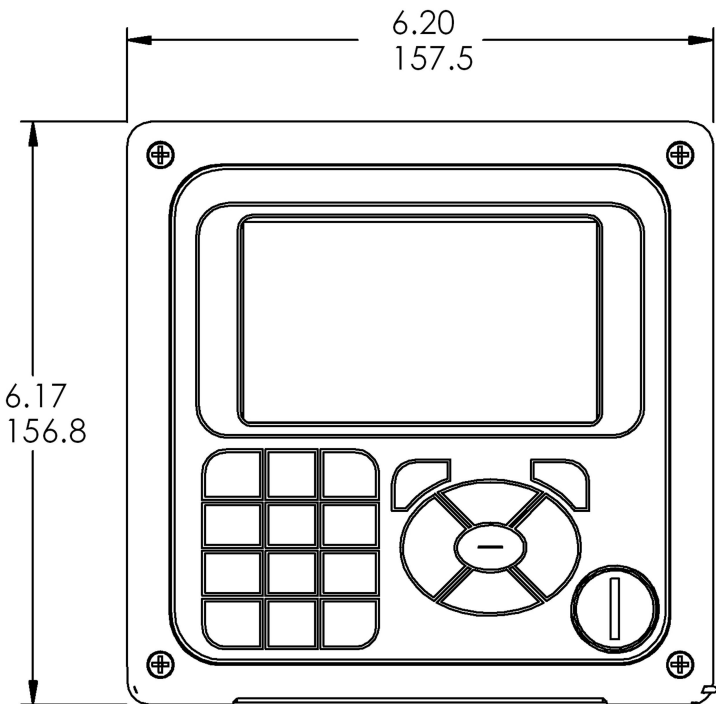
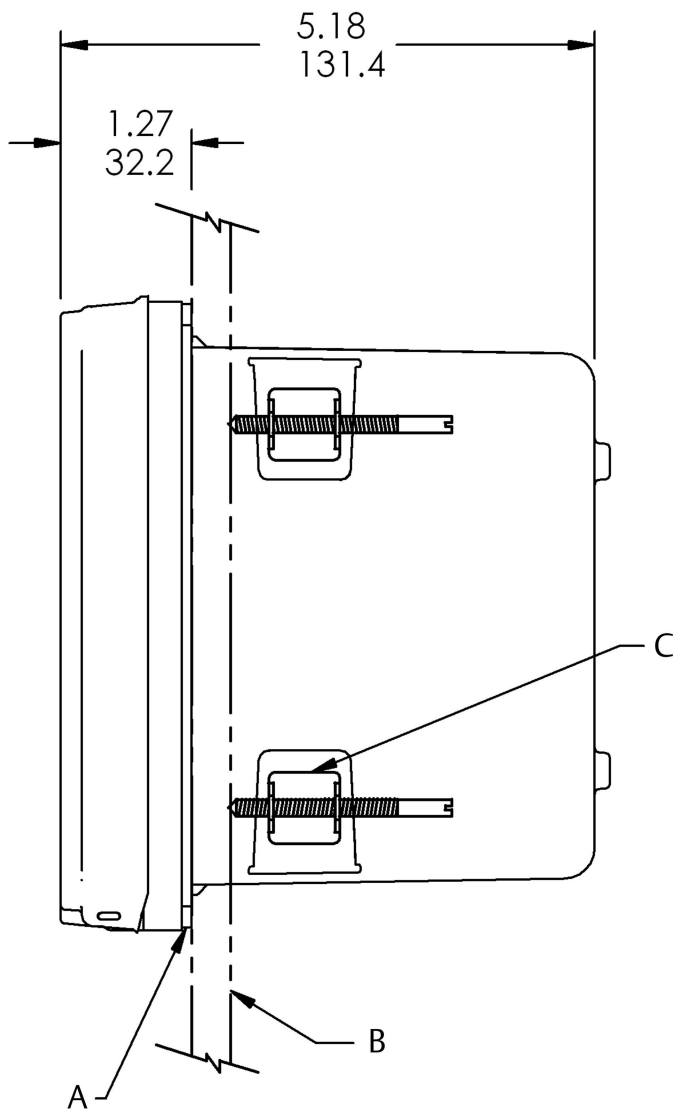
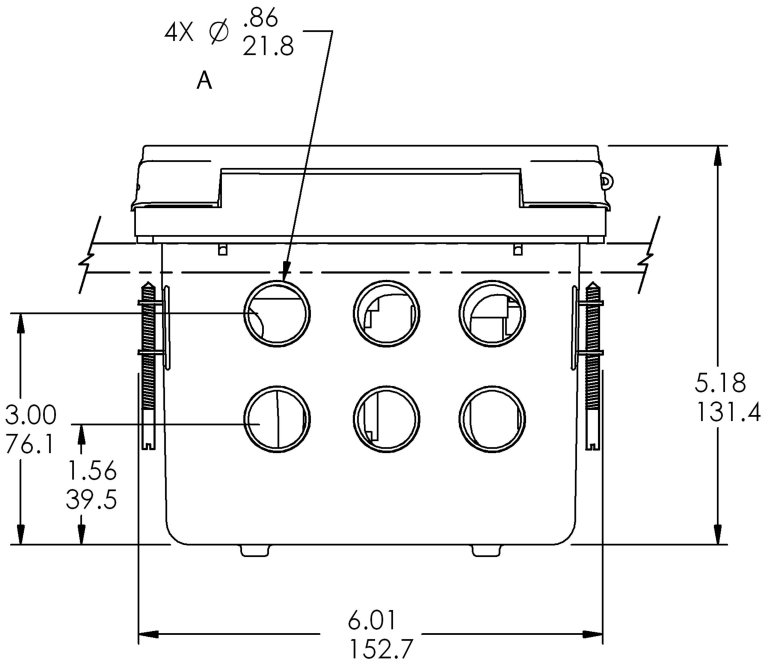


図 1-2: パネル取付け 側面図



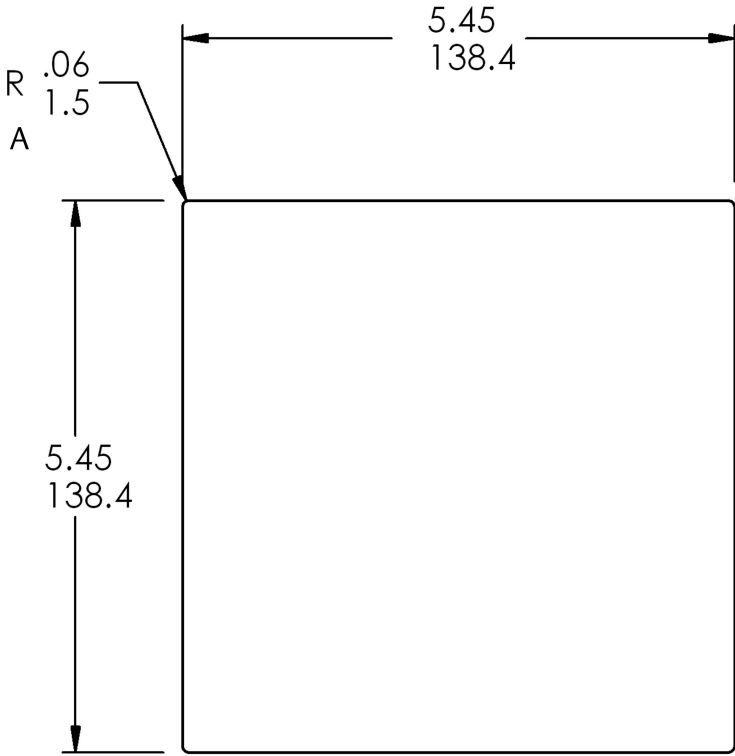
- A. パネル取付け ガスケット
- B. お客様側で用意するパネル最大厚さ: 9.52 mm
- C. 計測器に付属の4つの取付けブラケットとネジ

図 1-3: パネル取付け 底面図



A. 電線管接続口

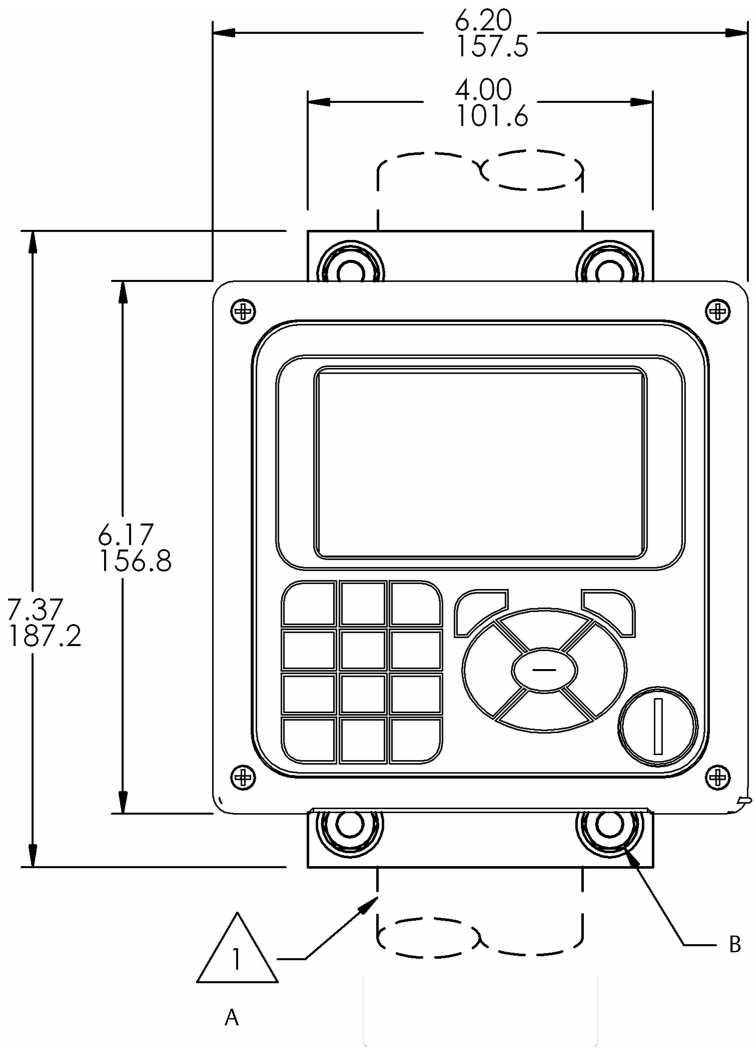
図 1-4: パネルカット図面



A. 最大



図 1-5: 壁面取付け 前面図



- A. お客様側で用意する51 mm パイプ
- B. 4 本のカバーネジ

図 1-6: 壁面取付け側面図

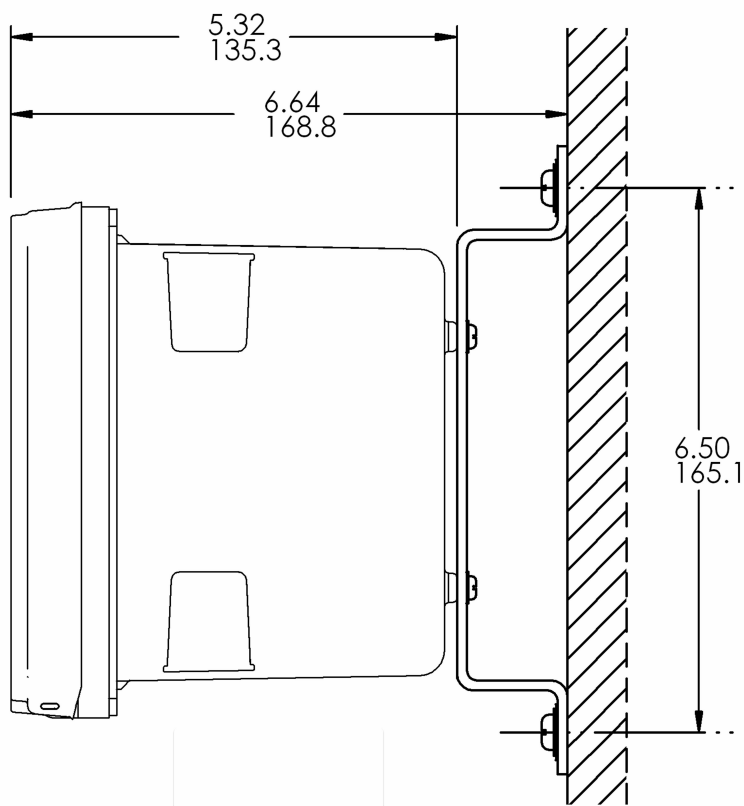
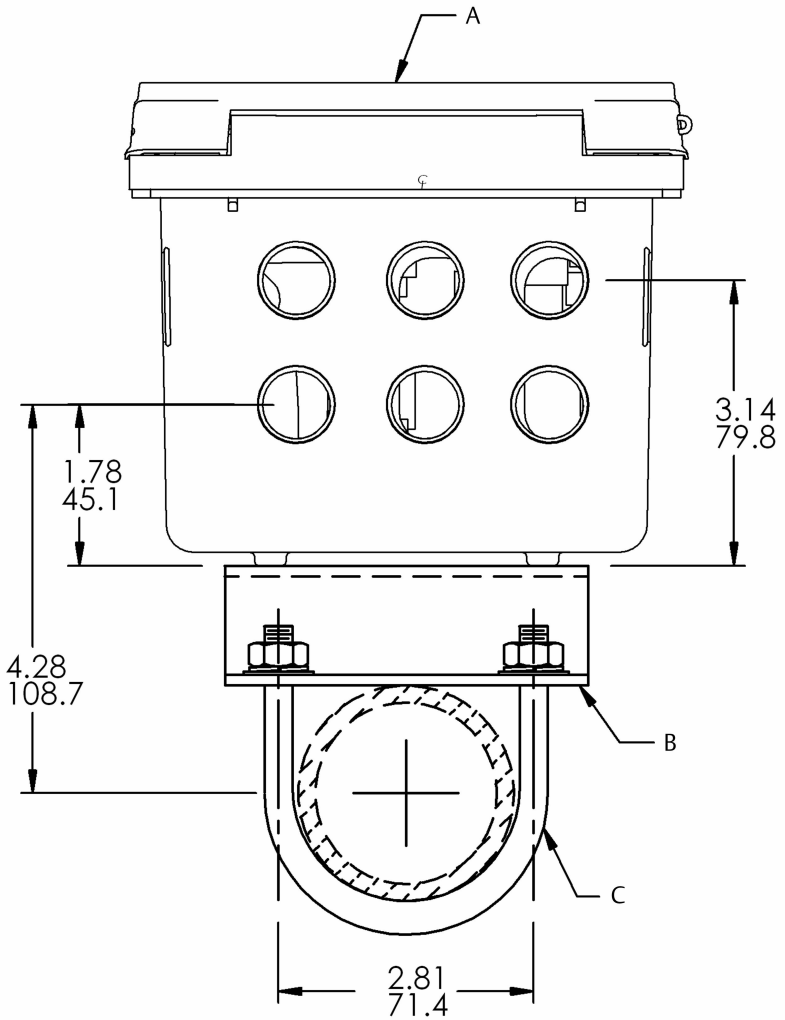
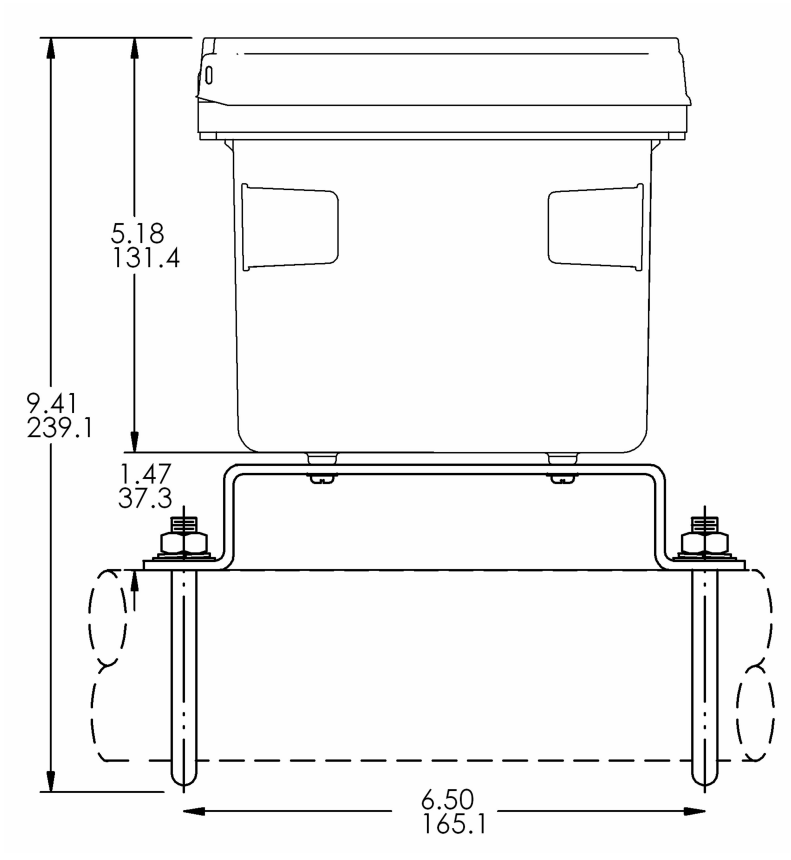


図 1-7: パイプ取付け 底面図



- A. フロントパネル
- B. 51 mm パイプ取付けブラケット
- C. キット PN 23820-00 の 51 mm パイプ用の 2 組の U 字形ボルト

図 1-8: パイプ取付け側面図



## 2 設置

### 2.1 一般的な設置情報

1. トランスミッタは日よけをして設置するか、直射日光や極端な温度の場所には設置しないでください。トランスミッタは、60°C (140°F) を超える周囲 (日陰) 条件で動作することはできません。
2. このトランスミッタは、振動や電磁・無線周波数の干渉が無い場所に設置してください。
3. トランスミッタとセンサの配線は、高電圧導体から少なくとも 0.30 m 離れた場所に設置してください。トランスミッタにアクセスしやすいことを確認してください。
4. トランスミッタは、パネル、パイプ、表面への取付けに適しています。取付けを参照してください。
5. 必要に応じてケーブルグランド接続金具とプラグを挿入することで、トランスミッタの筐体の 6 箇所すべての接続口を適切に密封してください。USB ポートカバーをフロントカバーにしっかり取り付けてトランスミッタを適切に密封してください。

#### ▲ 警告

#### 感電

本製品の設置と点検・修理を行う際、当該作業者が危険な電圧にさらされるおそれがあります。

電気設備は、米国電気工事規定 (ANSI/全米防火協会-70) およびその他の国や地域の規定に準拠している必要があります。

本機器は二重絶縁によって全体が保護されています。

点検・修理を行う前に、別の電源に接続された主電源を切ってください。

資格のある人員が保守を行う場合を除き、すべての機器の扉が閉まっていること、保護カバーが取り付けられていることを確認してください。

信号配線の定格は 240 V 以上である必要があります。

非金属製ケーブルの張力のがしは、導管接続部間の接地にはなりません。接地タイプのブッシングとジャンパーワイヤを使用してください。

本機器が 3 線式電源に接続され、適切に接地されていることを確認してください。

適切な使用と構成はオペレータの責任です。



この記号は、感電のリスクを示します。



この記号は潜在的な危険を示します。この記号が表示されたら、マニュアルを参照して適切な対処方法を見つけてください。

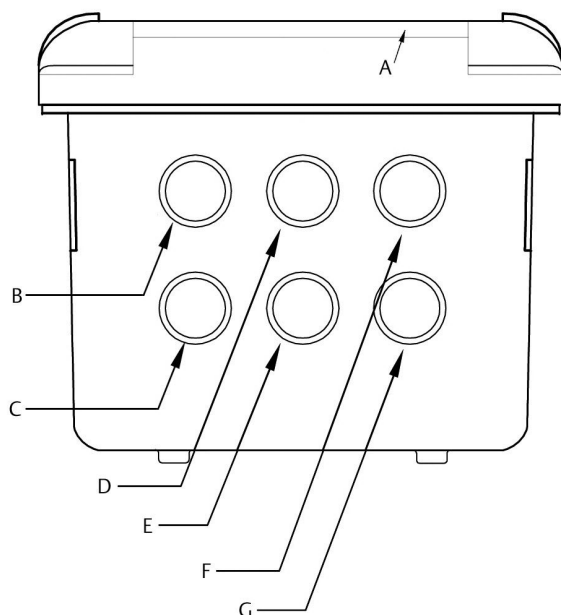
## 2.2 電線管接続口の準備

トランスミッタのどのような構成でも電線管接続口は6箇所あります。

### 注

接続口の4つはあらかじめプラグが差し込まれています。

図 2-1: 電線管接続口



- A. フロントパネル/キーパッド
- B. 電源リード線
- C. 警報リレーのリード線
- D. センサ1 ケーブル
- E. 4-20 mA/HART®/Profibus® のリード線
- F. センサ2 ケーブル
- G. 予備の接続口

## 通知

必ずワイヤとケーブルに合った適切なケーブルグランド接続金具とプラグを使用してください。

電線管開口部は、13 mm の電線管接続金具または PG13.5 ケーブルグランドに対応しています。ケースの防水性を維持するため、未使用の開口部はタイプ 4X または IP66 コンジットプラグで塞いでください。

屋外使用での IP 保護等級を維持するため、未使用の電線管の穴を適切なコンジットプラグで密封してください。

## 通知

要件に準拠した防水性の接続金具とハブを使用してください。接続金具をトランスミッタに取り付ける前に、コンジットハブを電線管に接続してください。

## 3 配線/結線

### 3.1 一般的な配線情報

フロントパネルは底部でヒンジによって固定されています。パネルが下に振れることで、配線箇所アクセスしやすくなっています。

#### 3.1.1 着脱式コネクタと信号入力端子台

トランスミッタは配線と設置をスムーズにするために、着脱式の信号入力端子と端子台を使用しています。

各信号端子台は部分的に、または全体を筐体から取り外して配線できます。トランスミッタには、最大2つの信号入力端子台と1つの通信端子台を配置できる3つのスロットがあります。

スロット1-左	スロット2-中央	スロット3-右
Profibus® 基板	信号基板1	信号基板2

#### 3.1.2 信号入力端子台の配線

スロット2と3は、センサー信号入力基板用です。

##### 手順

1. 基板に直接マークされているリード線位置に従って、センサのリード線をメインボードに配線します。
2. 配線した基板全体を慎重に筐体のスロットに差し込み、ケーブルグランドから余分なセンサケーブルを引き出します。
3. ケーブルグランドナットを締め付けてケーブルを固定し、筐体が密封されていることを確認します。

##### 注

お客様での工場に取り付けた信号入力基板を交換で出来ません。購入元にご連絡ください。

#### 3.1.3 デジタル通信基板

HART® デジタル通信はトランスミッタに標準搭載されています。HARTバージョン5と7をトランスミッタで利用でき、ローカルキーパッドで切り替えることができます。トランスミッタとホストの通信用のオプションとして Profibus® DP 通信基板が提供されています。

HART 通信は、アナログ 4-20 mA 電流出力に対してベル 202 デジタル通信をサポートしています。Profibus DP は、ホストへの専用デジタル回線経由で動作するオープン通信プロトコルです。



### 3.1.4 警報リレー

スイッチング電源 (85~264 VAC、注文コード 03) および 24 VDC 電源 (20~30 VDC、注文コード 02) と共に 4 つの警報リレーを提供しています。プロセス測定または温度にすべてのリレーを使用できます。どのリレーも、プロセス警報の代わりに不具合アラームとして設定することもできます。また、リレーを個別に設定して、ポンプまたは制御弁を作動するようにプログラムできます。

プロセス警報、アラームロジック (高/低作動、または USP\*)、不感帯はいずれもユーザがプログラム設定できます。プログラム可能なメニュー機能としてフェイルセーフ操作を設定できるため、トランスミッタへの電源投入時に全リレーにデフォルトで電力供給するかどうかを指定できます。ユーザが選択できる限界値のパーセント内に伝導性がある場合に USP\* 警報を作動するようにプログラムできます。USP\* 警報は、接触伝導性測定基板が取り付けられていないと使用できません。

## 3.2 HART® 電流出力の配線

4 点の 4-20 mA アナログ出力を備えた計測器が出荷されます。

メインボードのリード線マーク (+/正、-/負) を使って、それぞれのリレーのリード線を正しい位置に配線します。各装置にはオス型コネクタが付いています。

## 3.3 センサからトランスミッタへの配線

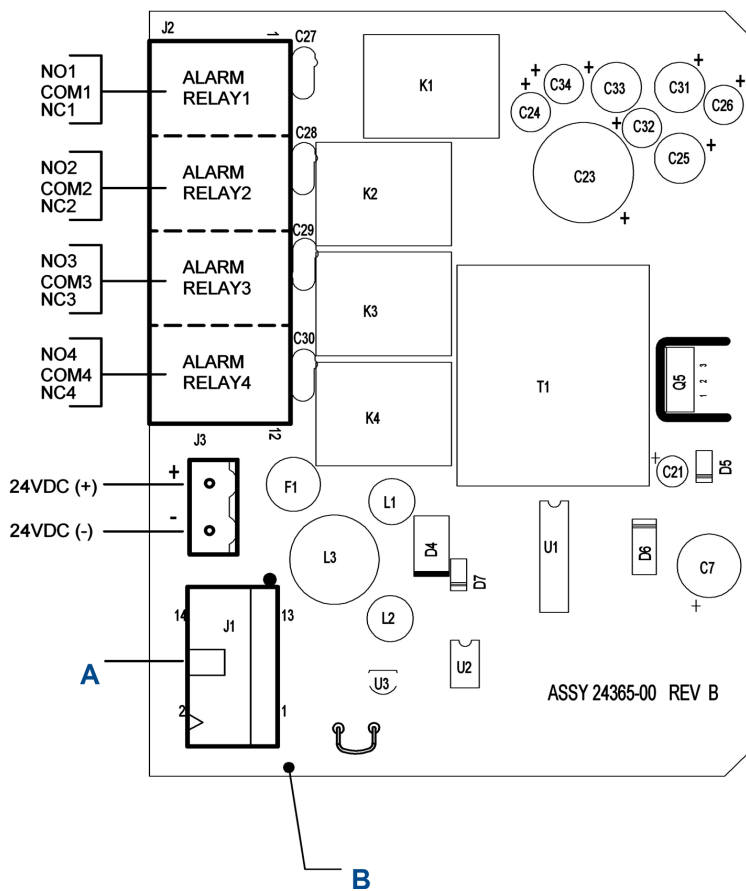
### 手順

1. ボードに直接マークされたリード線位置を使用して、正しいセンサのリード線をメインボードに配線します。
2. 配線したボード全体を慎重に筐体のスロットに差し込み、ケーブルグラウンドから余分なセンサケーブルを引き出します。

### ▲ 注意

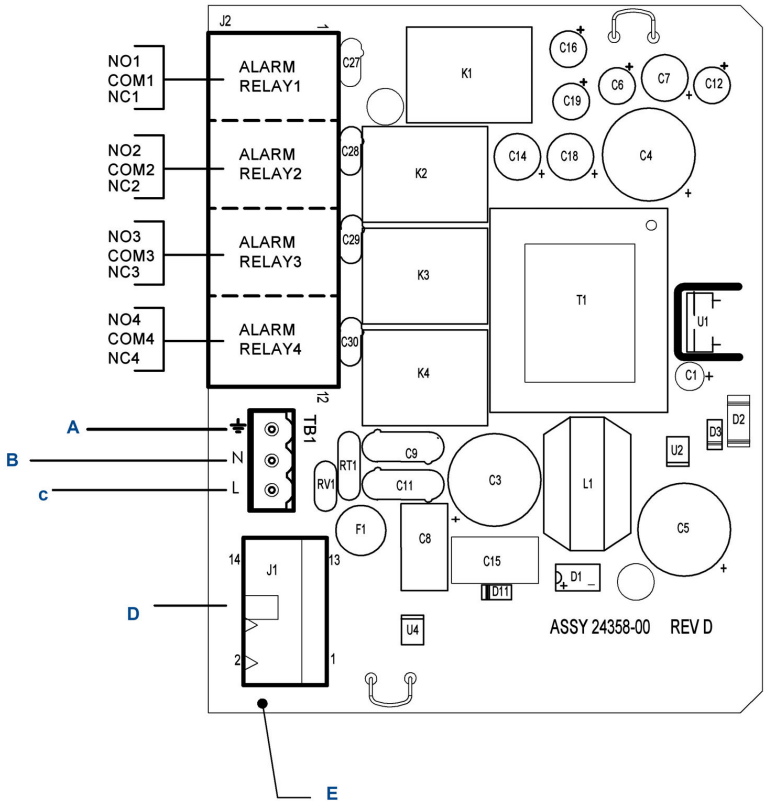
センサと出力信号の配線をループ電源の配線から離します。センサと電源の配線を同じ電線管内に配線したり、ケーブルトレイ内で近づけたりしないでください。

図 3-1: 24 VDC 電源 (注文コード 02) PN 24365-00 の電源配線



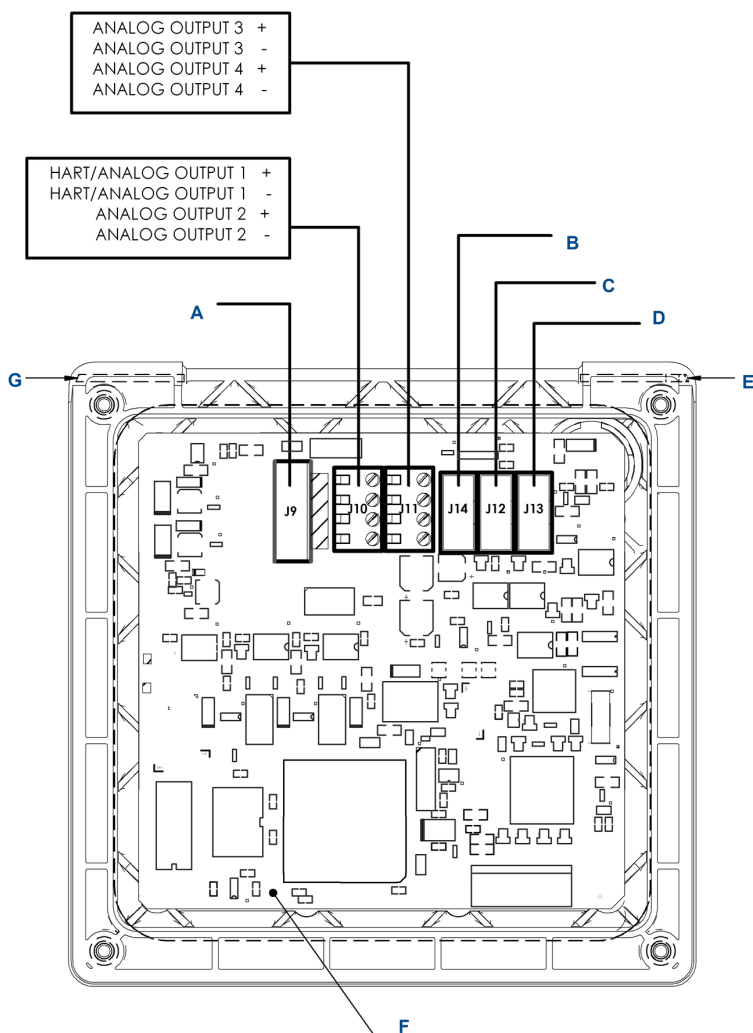
- A. メインボードへ
- B. Rosemount 56 DC 電源基板PN 24365-00

図 3-2 : 85-264 VAC 電源 (注文コード 03) PN 24538-00 の電源配線



- A. アース接地
- B. ニュートラル
- C. ライン出力
- D. メインボードへ
- E. Rosemount 56 AC 電源基板PN 24358-00

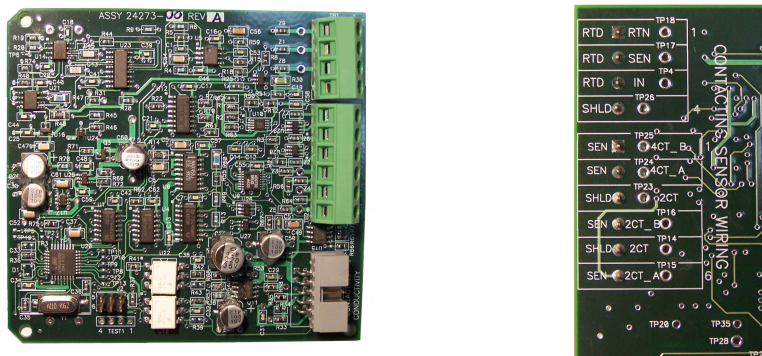
図 3-3: メイン Main PCB の出力線 PN 24308-00



- A. 電源PCB (リボンケーブル) へ
- B. デジタルI/O 通信基板へ
- C. センサ1 信号基板へ
- D. センサ2 信号基板へ
- E. ヒンジピン
- F. トランスミッタのメインボード、CPU PCB PN 24308-00
- G. ヒンジピン

推奨されるワイヤ接続口については、[図 2-1](#) を参照してください。

図 3-4: 接触伝導性信号基板とセンサケーブルのリード線



## 4 ディスプレイ表示の変更

### 4.1 ユーザーインターフェイス

トランスミッタには大型ディスプレイが備わっており、2つのライブ測定値の読み出しを大きい数字で表示するほか、最大6つのプロセス変数または診断パラメータも同時に表示します。ディスプレイはバックライト付きで、要件に応じて形式をカスタマイズできます。携帯電話のキーパッドと同様の英数字キーパッドを使って、プログラム設定や較正中にデータを入力したり、プロセスポイント、センサ、または機器の必要情報である長いタグを入力したりすることができます。



## 4.2 計測器のキーパッド

計測器のキーパッドには、3つのファンクションキー、4つのナビゲーションキー、および英数字キーパッドがあります。

### ファンクションキー

計測器のプログラム設定と校正やソートしたデータの取得用のメニューにアクセスするには、**ENTER/MENU** キーを使用します。**ENTER/MENU** を押すと、8つの最上位のメニュー項目が表示されます。

<b>Calibrate (校正)</b>	付属のセンサとアナログ出力を校正します。
<b>Program (プログラ ム設定)</b>	出力、測定値、温度、セキュリティコードをプログラム設定します。

- **Hold (ホールド)**: 現在の出力を保留にします。
- **Display Setup (ディスプレイセットアップ)**: トレンド表示、輝度、メインディスプレイ形式、タグ、言語、および警告を設定します。
- **Data storage and retrieval (データの保存と取得)**: データとイベントの保存、データのダウンロード、イベントの表示を行うことができます。
- **HART® または Profibus®**: HART 通信パラメータと Profibus 通信パラメータを設定します。
- **Time and Date (時刻と日付)**: リアルタイムのクロック設定を設定および表示します。
- **Reset (リセット)**: すべての計測器の設定、校正設定、または現在の出力を初期設定値にリセットします。

**ENTER/MENU** キーを使って、選択内容を入力したり、プログラム設定と校正のステップを有効にしたりすることもできます。

前のメニューレベルに戻る場合は **EXIT** キーを押します。

プログラム設定と校正手順の間に詳細な手順と説明を表示するには、**INFO** キーを押します。また、このキーを使って、校正または継続的な操作中に発生する可能性があるすべての不具合と警告に関するトラブルシューティングのヒントも表示できます。

### ナビゲーションキー

**ENTER/MENU** キーを囲む4つのナビゲーションキーは、PCのキーボードと同じように直感的に操作できます。メニューの操作中にこれらのキーを使って、ハイライト表示された画面の選択項目から、隣の別の画面項目に移動できます。タグの入力中(英数字の入力中)、**左方向**キーを使って、入力した文字を削除することができます。

### 英数字キーパッド

以下に示すように、英数字キーパッドには12個のキーがあります。

- 英数字キー×9
- 専用の**1**キー×1
- 専用の**0**キー×1
- 専用の**"×1"**(小数点)キー

英数字キーパッドは、携帯電話上の項目と同じように操作できます。9個の英数字キーには複数の文字があり、タグ入力やプログラム設定と校正のステップで使用できます。文字を選択するには、キーを数回押して、各キーで使用できる文字を切り替えます。

## 4.3 メインディスプレイ

トランスミッタには、1つまたは2つの一次測定値と、最大6つの二次測定値、不具合および警告バナー、警報リレーフラグ、デジタル通信アイコンが表示されます。

### プロセス測定

2つの信号基板が取り付けられている場合は、2つのプロセス変数が表示されます。1つの信号基板が1つのセンサと共に取り付けられている場合は、1つのプロセス変数とプロセス温度が表示されます。上段の表示領域には、センサ1のプロセス読取り値が表示されます。中央の表示領域には、センサ2のプロセス読取り値が表示されます。二重伝導性の場合は、次のように、上段と中央の表示領域を異なる計測/直読値に割り当てることができます。

上段表示の表示項目 - 例	センター表示用の表示項目 - 例
測定 1	測定 1
% 却下	測定 2
% パス	% 却下
比	% パス
	比
	非表示

単一入力構成の場合、上部の表示領域には計測/直読値が表示され、中央の表示領域を温度または非表示に割り当てることができます。



## 二次値

画面下半分の表示領域には、最大6つの二次値が表示されます。6つの二次値位置をすべて、使用可能な任意の表示可能なパラメータにプログラムすることができます。

## 4.4 メニューシステム

メニューシステムはコンピュータと似ています。いつでも **ENTER/MENU** キーを押して、校正、保留、プログラム、ディスプレイ、データ、HART<sup>®</sup> 機能などの最上位メニューを開くことができます。メニュー項目を見つけるには、方向ナビゲーションキーを使ってメニュー項目を強調表示します。**ENTER/MENU** を押し、カーソルを目的の操作に合わせ、画面のメッセージに従います。一部のメニュー画面で使用可能な **BACK** 画面コントロールを押すと、直前のメニュー画面に戻ります。前の階層のメニューレベルに戻る場合は **EXIT** キーを押します。

### 不具合および警告バナー

トランスミッタがトランスミッタ本体またはセンサの問題を検出すると、メインディスプレイの下部に **Fault (不具合)** または **Warning (警告)** (黄色) のバナーが表示されます。不具合があったら、直ちに対応してください。警告は、問題のある状態または差し迫った故障を示します。トラブルシューティングの支援については、**INFO** を押します。

## 5 トランスミッタの起動

### 手順

1. 信号基板にセンサを配線します。  
配線の手順については、[配線/結線](#)を参照してください。その他の詳細については、センサのクイック・スタート・ガイドを参照してください。電流出力、警報リレー、電源の接続を行います。
2. 接続が安全で検証が済んだら、トランスミッタの電源を作動させます。

### ⚠ 警告

#### 感電

電気設備は、米国電気工事規定 (ANSI/NFPA-70) およびその他の適用される国や地域の規定に準拠している必要があります。



この記号は、感電のリスクを示します。



この記号は潜在的な危険を示します。この記号が表示されたら、マニュアルを参照して適切な対処方法を見つけてください。

トランスミッタに初めて電源を入れると、**Quick Start (クイックスタート)**画面が表示されます。クイック・スタートに記載の操作のヒントは次の通りです。

- a. ウィンドウ画面が表示されます。選択されているフィールドが、濃い青のバックライトで表示されます。選択中のフィールドを編集するには、**ENTER/MENU**を押します。
  - b. リアルタイムクロックを設定するための **Time and Date (時刻と日付)**画面が表示されます。表示されている時刻を受け入れる場合は、**Time and date OK (時刻と日付 OK)**の **ENTER**を押してください。日付と時刻を変更する場合は、**下方向キー**を押して **Change time and date (時刻と日付を変更)**に移動します。
3. 言語を選択するには、**ENTER/MENU**を押して、アクティブなフィールドを編集し、選択する言語にスクロールします。**ENTER/MENU**と**下方向キー**を順に押して、**NEXT**を強調表示します。キーボード操作のナビゲーションルールが表示されます。
  4. センサ1とセンサ2の測定を選択します。

ユーザインターフェースの操作方法を説明するキーパッドの操作ガイドラインが表示されます。

---

**注**

バックライトが付いたフィールドを編集するには、**ENTER/MENU**を押します。上下にスクロールするには、**ENTER**キーの上または下のキーを使用します。カーソルを左右に動かすには、**ENTER**キーの左右のキーを使用してください。小数点を含む数値を編集するには、英数字キーパッドを使った後、**ENTER**を押します。

---

**注**

設定または値を保存する場合は、**ENTER**キーを押します。変更を保存せずに終了する場合は、**EXIT**を押します。クイックスタートの画面が開いている間に**EXIT**を押すと、ディスプレイが最初のスタートアップ画面 (**Select language (言語を選択)**)に戻ります。次のクイックスタートのステップに進むには、**右方向**キーまたは**下方向**キーを使って**NEXT**を強調表示します。**ENTER**を押します。

---

最後のステップの後、メインディスプレイが表示されます。プローブをトランスミッタに接続する前の電流出力にはデフォルト値が割り当てられています。

- 出力とすべての設定を変更するには、ライブ画面から**ENTER/MENU**を押してください。下方向キーと右方向キーを使ってメニューを選択し、目的の画面に移動します。
- トランスミッタを初期設定値に戻すには、メニュー選択画面の**Reset (リセット)**を選択します。

さらにサポートが必要な場合は、Emerson カスタマー・サポート・センター (046-44-8312) にお電話ください。

## 6 防爆認定

汚染度 2

設置カテゴリ II

高度 2,000 m

湿度 最大 31 °C まで 80 パーセント、40 °C で 50 パーセントの  
相対湿度まで直線的に低下。最大 80 パーセントの相対  
湿度、結露なき事。

## 7 製品証明書

改訂 1.1 版

### 7.1 欧州指令情報

EU 適合宣言書の写しは、クイック・スタート・ガイドの最後にあります。EU 適合宣言書の最新版は [Emerson.com/Rosemount](https://www.emerson.com/Rosemount) で見るできません。

### 7.2 通常使用区域に関連する認証

トランスミッタは標準として、連邦労働安全衛生局 (OSHA) の認定を受けた国家認定試験機関 (NRTL) によって、設計が基本的な電氣的、機械的、および防火要件を満たしていることを確認するための検査および試験が実施されています。

### 7.3 北米での機器の設置

米国電気工事規程® (NEC) およびカナダ電気工事規定 (CEC) は、Division のマークが付いた機器を Zone で使用すること、および Zone のマークが付いた機器を Division で使用することを許可しています。マーキングは地域の格付けとガスと温度のクラスに適合したものである必要があります。この情報はそれぞれの規定で明確に定義されています。

## 7.4 米国

### 7.4.1 米国 危険区域

証明書	FM 17US0028X
規格	FM クラス 3600:2011 FM クラス 3611:2004 FM クラス 3810:2005 ANSI/IEC 60529: 2004
マーク	Non-incendive Class I, Division 2, Groups ABCD T4 Tamb -10 °C to +60 °C; dust tight Class II, Division 2, Groups EFG; Class III Per Drawing 1400667 IP66 enclosure

安全に使用するための特別条件 (X) :

1. プロセス内で電極を露出するセンサは、不燃性液体内のみで使用してください。

## 7.4.2 米国 危険区域

証明書	70173522
規格	CSA 規格 C22.2 No. 25-1966、CSA 規格 C22.2 No.94.4:20、CSA 規格 C22.2 No. 213-M1987、CAN/CSA-C22.2 No. 61010-1-12 AMD 1 CSA 規格 C22.2 No. 60529:05 (2015年に再確認)、ANSI/IEC 60529-2004 (2011年に再確認)、ANSI/ISA 12.12.01:2007、UL 規格 50E、第3版、UL 61010-1、第3版
マーク	Class I, Division 2, Groups A, B, C, and D; Class II, Division 2, Groups E, F, and G; Class III 最大周囲温度 60°C、T4、タイプ 4X 筐体、IP66

## 7.4.3 米国 通常使用区域

証明書	20160921-E207618
規格	UL 61010-1、CAN/CSA C22.2 No.61010-1

マーク






## 7.5 カナダ

### 7.5.1 カナダ 危険区域

証明書	70173522
規格	CSA 規格 C22.2 No. 25-1966、CSA 規格 C22.2 No. 94.4:20、CSA 規格 C22.2 No. 213-M1987、CAN/CSA-C22.2 No. 61010-1-12 AMD 1、CSA 規格 C22.2 No. 60529:-5 (2015年に再確認)、ANSI/IEC 60529-2004 (2011年に再確認)、ANSI/ISA 12.12.01: 2007、UL 規格 50E、第3版、UL 61010、第3版
マーク	Class I, Division 2, Groups A,B, C, and D; Class II, Division 2, Groups E, F, and G; Class III 最大周囲温度 60°C、T4、タイプ 4X 筐体、IP66

# A EU 適合宣言書

	
<h2 style="margin: 0;">EU Declaration of Conformity</h2> <p style="margin: 0;">No: RAD 1121 Rev. C</p>	
<p>We,</p> <p style="margin-left: 40px;"><b>Rosemount Inc.</b> 8200 Market Boulevard Chanhassen, MN 55317-9685 USA</p> <p>declare under our sole responsibility that the product,</p> <p style="margin-left: 40px;"><b>Rosemount™ Advanced Dual Input Analyzer Model 56-AA-BB-CC-DD</b></p> <p>is manufactured by,</p> <p style="margin-left: 40px;"><b>Rosemount Inc.</b> 8200 Market Boulevard Chanhassen, MN 55317-9685 USA</p> <p>to which this declaration relates, is in conformity with the provisions of the European Union Directives, including the latest amendments, as shown in the attached schedule.</p> <p>Assumption of conformity is based on the application of the harmonized standards and, when applicable or required, a European Union notified body certification, as shown in the attached schedule.</p>	
 <hr style="border: 0; border-top: 1px solid black;"/> <p style="font-size: small;">(signature)</p>	<p style="font-size: small;">Vice President of Global Quality (function)</p> <hr style="border: 0; border-top: 1px solid black;"/> <p style="font-size: small;">10-Jan-19; Shakopee, MN USA (date of issue &amp; place)</p>
<p style="font-size: small;">Chris LaPoint (name)</p>	
<p style="font-size: x-small;">Page 1 of 2</p>	



## EU Declaration of Conformity

No: RAD 1121 Rev. C

The product,

### Rosemount™ Advanced Dual Input Analyzer Model 56-AA-BB-CC-DD

Where

AA is power:

02 24 VDC, 4 alarm relays  
03 85-265VAC, 4 alarm relays

BB is Measurement 1:

20 Conducting Conductivity  
21 Toroidal Conductivity  
22 pH/ORP/ISP  
23 Flow/4 to 20mA current  
24 Chlorine  
25 Dissolved Oxygen  
26 Ozone  
27 Turbidity

CC is Measurement 2:

30 Conducting Conductivity  
31 Toroidal Conductivity  
32 pH/ORP/ISP  
33 Flow/4 to 20mA current  
34 Chlorine  
35 Dissolved Oxygen  
36 Ozone  
37 Turbidity  
38 None

DD is Communication output:

HT 4-20 mA plus HART com  
DP Profibus protocol

to which this declaration relates, is in conformity with relevant Union harmonization legislation:

#### EMC Directive (2014/30/EU)

Harm onized Standards:  
EN 61326-1:2013

#### Low Voltage Directive (2014/35/EU)

Harm onized Standard:  
EN 61010-1:2010

#### RoHS Directive (2011/65/EU)

Harm onized Standard:  
EN 50581:2012



## B 中国 RoHS 表

含有China RoHS 管控物质超过最大浓度限值的部件型号列表 56  
List of 56 Parts with China RoHS Concentration above MCVs

部件名称 Part Name	有害物质 / Hazardous Substances					
	铅 Lead (Pb)	汞 Mercury (Hg)	镉 Cadmium (Cd)	六价铬 Hexavalent Chromium (Cr +6)	多溴联苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴联苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
电子组件 Electronics Assembly	X	O	O	O	O	O
传感器组件 Sensor Assembly	X	O	O	O	O	O

本表格系依据SJ/T11364的规定而制作。

This table is proposed in accordance with the provision of SJ/T11364.

O: 意为该部件的所有均质材料中该有害物质的含量均低于GB/T 26572所规定的限量要求。

O: Indicate that said hazardous substance in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement of GB/T 26572.

X: 意为在该部件所使用的所有均质材料里，至少有一类均质材料中该有害物质的含量高于GB/T 26572所规定的限量要求。

X: Indicate that said hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement of GB/T 26572.

部件名称 Part Name	组装备件说明 Spare Parts Descriptions for Assemblies
电子组件 Electronics Assembly	电子线路板组件 Electronic Board Assemblies 液晶显示屏或本地操作界面显示屏 LCD or LOI Display
传感器组件 Sensor Assembly	传感器模块 Sensor Module





詳細は、[Emerson.com](https://www.emerson.com) をご覧ください。

©2022 Emerson 無断複写・転載を禁じます。

Emerson の販売条件は、ご要望に応じて提供させていただきます。Emerson のロゴは、Emerson Electric Co. の商標およびサービスマークです。Rosemount は、Emerson 系列企業である一社のマークです。他のすべてのマークは、それぞれの所有者に帰属します。